

2017年度青島日本人会理事会(9月)議事録

2017年9月12日

於:クラウンプラザ 4階 16:00~17:30

出席理事・監事:(27名中22名)、遠山総領事、事務局(池田)

(委任状理事、監事(敬称略);小松、正村、端、野上、前田(パナ))

議長:佐藤理事

I)開会に当たって

◇ 能勢会長

- ✓ 納涼祭は盛況で終了、関係者の皆様に厚くお礼申し上げたい。
- ✓ 山口銀行の清水支店長が御帰国された。生活文化会等での御貢献に対し、敬意を表したい。
- ✓ 国際情勢では、北朝鮮の核実験、米のハリケーンが猛威を振っており、石化業界に悪影響。
- ✓ 中国市場では、8月PMIが51.7と13ヶ月連続で50を上回っており、堅調を維持。一方、山東省では、安全・環境基準の厳格化の中で、化学・食品等の工場が操業停止を余儀なくされている状況が数多く報告されており、注視必要。

(会長として出席したイベント関連)

- ✓ 7/27 北京日本人交流会に出席し、青島日本人会の現況を報告した。(後述)
- ✓ 8/4 青島ビール祭りに招待され出席。「一帯一路」の良さをアピールする劇が上演された。
- ✓ 8/23 日銀幹部(前田理事)の方々との政経意見交換会に出席。
- ✓ 8/24 市政府主催の青島ビール祭りに出席
- ✓ 9/9 セコム20周年パーティーに出席して祝辞。
- ✓ 9/24 日照市のハーフマラソンに参加予定。

日照市経済技術開発区の招商局が、日本人会にプレゼンしたいとの要請あり、次回の理事会の際にお越しになる可能性有り。

◇ 遠山総領事ごあいさつ

- ✓ 日中関係は改善の流れにある。
- ✓ 9/6 北京で日中友好45周年のレセプションが挙行された。俞正声氏は安定した日中関係を作るには、日本側の歴史認識、南シナ海の問題などの解決が必要と発言、改善の流れにはあっても本格的ということではないとの印象。中国海軍の動きが活発化しているのは心配事。
- ✓ 邦人のスパイ容疑で拘束されていた3名の内2名が釈放されたが1名は未だ拘束されている。在留邦人が普通に生活していて拘束されるようなことはなく、法を守った行動をお願いしたい。
- ✓ 9月第4週に青島市政府と日韓タイの領事会議が行われる予定。経済面では環境基準強化問題、安全対策などがテーマになる。具体的に提起すべき事項あれば出していただきたい。
- ✓ 45周年等で領事館関係の文化行事のご協力にお礼申し上げ、よろしくをお願いしたい。

II)報告事項

A)商工会(吉川会長)

- ✓ 9/8 第3回商工会開催。「優遇税制について」50人前後の出席。これまでにない切り口で好評であった。商工会幹部で今後の活動についてアイデアなど出し合った。

◆ 食品部会(前田副部会長)

下期に2回の部会を予定している。「食品安全セミナー」「農産品の輸入について」JETRO,大使館のご協力得て進めたい。

◆ 繊維部会(杉田副部会長)

8/29 に第一回の部会を開催。22名の参加。各社紹介、内販の説明や製品表示改定についての説明をした。懇親会も16名の参加で盛況。次回は異業種の工場見学会を予定。

◆ 機械・電機・化学部会(松沢部会長)

8/10 に第一回の部会。日が悪かったのか10名の参加だったが逆に深く話も出来た。11-12月に工場見学会。3回目はJETROと共催を考えている。

◆ 流通サービス部会(佐藤部会長)

6/22 に第1回を行い、次回は11月に実施の予定。

◆ 地区日本人会(城陽、即墨、胶州、黄島)

➢ 城陽区(矢部理事)

8/30 城陽区恒例の「ボヤキ会」を開催。20名の参加。環境問題を中心に論議。

10/14 城陽区コンペを開催する。

私事だが帰任が決まり、後の体制と後任探しに入る。

➢ 黄島区(古塩監事)

現在74社140名。8/6に納涼会を実施。55名参加したが人数が減っている。

9/24 ゴルフ会。9/27 経済開発区招商局と協議会を開く。

➢ コウ州区(武田理事の代理で林氏)

8/26 豊光精密さんで納涼会10名参加。

9/12 本日急きよ市政府から協議会の呼び出しがあり代表で出かけた。

(佐藤理事)環境問題については注意喚起の通知(7/7)を出しているのをご覧ください。

B)生活文化会(森会長)

✓ 8/26 納涼祭 協賛、協力有難うございました。学校PTAからも喜んで頂けた。

✓ 10/21 大運動会を日本人学校体育館で予定。

✓ 11/5に社会奉仕活動を予定しているが、J-dayと重なっており延期の方向。

→生活文化会幹部で協議しているが意義、内容でまとまらない。

→北京の全国交流会でも聞いてみたが、植林や貧困家庭への補助等、面白そうなものはあったが、青島の規模感に合わず。また、ゴミ拾いをされている所は、聴いた範囲ではなかった。

(能勢会長)

→理事会の皆さんのアイデアを集めてもう一度検討課題にしていきたい。(能勢会長)

C)日本人学校運営理事会(藤井理事長)

✓ 清水理事の転勤により川田理事に入ってください。

✓ 8/14に2学期が開始、オープンスクール、水泳記録会等の行事があった。また、9/23の運動会に向け練習が始まっている。

✓ 生徒数は8月末時点で83名、4月より10名程増えた。

✓ 財務は人数増により余力が出る(80万円)日本人会からの補助は今年は無しとした。

✓ 文科省派遣の先生方への個人所得税は一年以上を経て漸く地税局から連絡があり、無税とさまりそう。

✓ セキュリティ面でテロ対策で外務省本省から予算が付くということで窓ガラスの飛散フィルムや鉄格子、鉄扉、パニックルームなどの設置を検討しているが、中国は安全度が高く、また青島校は塀が高いなどセキュリティ環境が6月に調査訪問した専門家により高評価

を受けており、予算が出ない可能性もある。今後議論を継続するが、国からの補助金が承認される前提でパニックルームの設置を考えるという方向になってきている。

Ⅲ) 議決事項

- ① 新会員の資格承認及び会員動静(事務局)
 - ✓ 7月の理事会後入会申請のあった4社の加入を承認。
- ② 会計報告(事務局)
 - ✓ 学校寄付金20万元は日本人会でプールすることで承認。
 - ✓ 総領事より文庫は有効に使用されているかとの質問。最近人数が減っている旨回答。
- ③ 理事・監事の異動と承認。(能勢会長)
 - ✓ 清水理事に代わって川田理事が就任を承認。

Ⅳ) 審議事項

- ◆ ジャパンデイと日中正常化45年企画(事務局)
 - 8/31に能勢会長以下、関係理事も出席してJTBより説明を受けた。
 - もともと領事館主導のイベントに協賛・参加し、手造りで行ってきたが、近年、その窓口がJTBに移管される形で実施されているのが実態。
 - 11/4-5に東部イオンで開催することは決定。
 - 予算が厳しい中3万元の内、今年度は、その1万元を45周年記念行事に使用することは決定済。

- これに対し以下のような補足、意見があった。
 - 中国各地(6か所)で行われているが日本人会が拠出しているところはない。
 - イオンさんは、今年度、場所を無償で提供されているとの事で、収益は度外視で協力できるところをやっておられるとの事。
 - 趣旨としては良いこと。日本人会との絡み方が問題。ただ、このイベントだと、担当部会も決まらず、やや日本人会としては取り組みにくいものとなって来ている。
 - ジャパンディーの予算を来年度は、生活・文化会に紐つけ、再度どの様なイベントに使用していくか議論したい。ただ、一から始めるイベントでは、生活・文化会の負担が(納涼祭、運動会、新年会等)大きすぎるので、そのあたりも考慮する必要がある。
 - コマの一つを日本人会出だせないか?⇒認可団体ではないので無理との判断。

(結論)今年参加し来年の拠出は白紙とする。

Ⅴ) その他連絡事項

- ✓ 総領事杯柔道大会協賛について(福永理事)
 - 45周年企画である資料により9/19の着付け教室と11/23からの柔道大会の案内。
 - 今年の天皇誕生日祝賀レセプションは12/14夜、山東省日本人会交流会は12/15午前を予定している。
- ✓ 北京日本人交流会の報告(佐藤理事)
 - 資料により内容説明。次年度は経費を考え1名にするか2名参加かは今後検討。

Ⅵ) まとめ & 閉会挨拶(廣田副会長)

- ✓ 能勢会長は総領事杯ゴルフ会2連覇、マラソンと益々活躍されている。
- ✓ 川田新理事も前任の清水理事同様ご活躍お願いします。
- ✓ ジャパンデイの討議が盛んに行われましたがまずは皆さん是非ご覧になってください。

以上